

市職労退職者の会

青春18キップの旅

桜はつぼみ、でも「サクラは満開」でした

市職労退職者の会では、3月28日(月)に観桜列車で回る「青春18キップの旅」に出発しました。当日の参加者は、その名のとおり18名で和気あいあい、ハプニング連続の楽しいたびとなりました。

博多駅を9時58分発の普通列車で久留米駅まで行き、それからJR久大線の普通列車「湯布院行き」で夜明駅に12時着下車、ここまで2時間の行程ですが車中ではすっかり宴会気分の人もあり、お賑わいでした。



JR夜明駅の陸橋、門司港レトロ

だより

No. 7

2011/3/31

次は中央区の「歴史散歩」裏面参照

◎日時 5月14日(土)

10時から15時(予定)

◎参加費 3000円

◎申込は電話で書記局まで

電話 711 4940



本多さんの大道芸ですが、観客が映っていないのが残念です。東北関東大震災の募金が8,000円も寄せられました。ありがとうございました。

夜明駅でハプニングの大騒ぎ

夜明駅では駅舎の外に出てダム見学、記念写真もばっちり。ここで第1のハプニングが発生、夜明駅で下車するのを忘れて小林さんが日田駅まで乗り越してしまい大騒ぎ、さいわい携帯電話で連絡が付き遅れて追いかけることになりました。

ところで「観桜列車」の予定で企画した旅でしたが、今年は寒さが長く続いているせいか昨年と比べて開花が1〜2週間遅れ、車窓から見える桜はどれも蕾みばかりで残念でした。それでも、沿線には菜の花が広がり、山並の新緑に気分も爽快でした。

観桜列車の旅が「サクラ見物」に

久大線の夜明駅からは日彦山線に乗り換えて田川後藤寺駅まで1時間15分、山中を走り抜ける列車の両側には田舎暮らしを感じさせる長閑な風景に見入っていました。田川後藤寺駅では小倉行きに乗り換えます。沿線には日本セメントが採掘する香春岳の白い山肌が見えました。

ここで本多さんが門司港レトロで大道芸に挑戦することを告げて着替え準備をはじめたのにはみんなもびつくり。それでも「東北関東大震災を支援するカンパの訴えをしたい」との話から、参加者一同が「サクラになるか」と観桜列車の落ちも入りました。

本多さん、大道芸で震災カンパ

門司港駅に午後3時前に到着しました。由緒ある駅舎をバックに出全員集合の記念写真をパチリ、本多さんの大道芸を披露する場所をオルゴール館の前に決めて4時半から始まりました。出し物は「南京玉すだれ」で、軽妙な口調は初心者とは思えない出来にサクラ以外の観光客からも「おひねり」があり、45分間で八千円のカンパが集まりました。

途中で外れてしまった小林さんが4時半に無事門司港駅に到着にて全員集合となりました。朝の10時から夕方7時までの長かった列車の旅も無事終了しました。